



腹腔鏡下胆のう摘出術

最近では胃癌、大腸癌などに対しても同レベルの手術を内視鏡で行うことができるようになってきました。美濃病院外科では、全身麻酔手術のおよそ1/4～1/2が内視鏡手術となっており、大腸癌の手術は進行癌も含めて1/2を内視鏡で行っています。

肝臓で作られた胆汁は肝臓内の肝内胆管から総胆管に集まり、十二指腸から分泌されて脂肪の吸収を手助けします。この途中に胆汁の貯蔵庫である胆のうがあります。

胆石とは、胆のう・総胆管・肝内胆管にできた結石のことです。結石そのものを胆石と呼び、症状を伴う胆石を胆石症と呼びます。

正常な胆のうの中に石があるだけでは治療の必要はありませんが、胆石による症状がある場

合や症状が無くても胆のうに異常がある場合に治療が必要になります。

### 胆石症の症状

胆石症の典型的な症状は、右の脇腹やみぞおちが痛い、時には右の背中が痛い、特に食事の後に痛みを感じるといったものです。ひどくなると発熱や悪心嘔吐、黄疸を伴います。

また、のたうち回るような痛みから、お腹の上部が何となく不快だとか、お腹が張るとか、

便通異常があるだけなどの軽いものまで症状にはかなり幅があります。

このような症状でお悩み方は、かかりつけ医でご相談ください。



美濃病院病院長 **阪本 研一**  
 日本外科学会  
 (指導医・専門医)  
 日本消化器外科学会  
 (指導医・専門医)  
 日本消化器病学会 (専門医)  
 ほか



美濃病院外科医長 **松本 真介**  
 日本外科学会 (専門医)  
 日本呼吸器外科学会 (専門医)  
 日本胸部外科 ほか



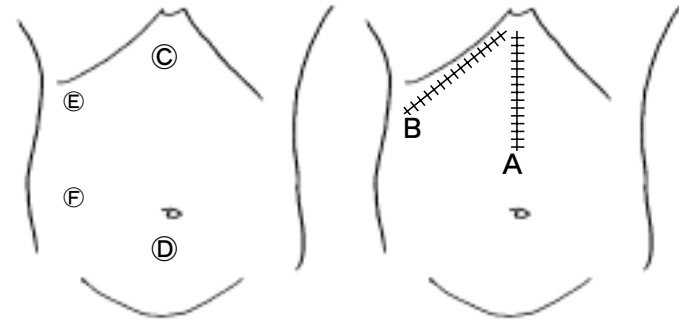
美濃病院外科医 **関野誠史郎**  
 日本外科学会 (認定医)  
 マンモグラフィ読影医  
 日本消化器病学会 ほか

# たんせきしょう 胆石症の 診断と治療方法

患者様にやさしい腹腔鏡下胆のう摘出術

胆石症は食生活の欧米化や健康診断の普及によって増加傾向にあります。日本人の10人に1人は胆石を持っていると言われていています。健康診断で「胆のうに石があります」と言われて困っている方はいらっしゃいませんか？

胆のう摘出術の傷の比較



【腹腔鏡下胆のう摘出術】  
 C・D約10mm、E・F約5mm 計4つの穴を開けて手術を行います

【開腹手術】  
 AまたはBの部位を約150mm開いて手術を行います

腹部超音波検査で胆石があるかどうかすぐに分かります。

症状のない胆石

結石のある胆のうは症状が無くても慢性的な炎症を繰り返しています。

胆のうの壁の異常のほとんどは胆のうポリープです。これは、大きさや形によっては治療が必要になることがあります。

また、胆石を持っている方の1%に胆のう癌ができると言われています。胆のう癌は極めて治療成績が悪く早期診断が重要です。

胆のうは胃や大腸のように直接カメラを入れて癌の早期診断をすることが出来ない臓器です。

超音波検査で胆のう壁の状態を診て間接的に診断するしかありません。

しかし、胆のうの中に結石が充滿していると石が邪魔して観察することができなくなるので、この場合は無症状でも治療が必要となります。

治療方法

胆石症を確実に治す方法は、手術で胆のうと結石を一緒に摘出するしかありません。

胆石を溶かす内服薬を使う方法もありますが、結石の直径が1cm以下、石灰化がない、コレステロール系結石である、胆のうの機能が正常であるなど多くの条件を満たさないと効果がありません。

内視鏡手術

日本で1990年に第1例目の胆石症に対する内視鏡手術が行われてから約20年が経って、現在では様々な病気に對して内視鏡手術行われるようになってきました。

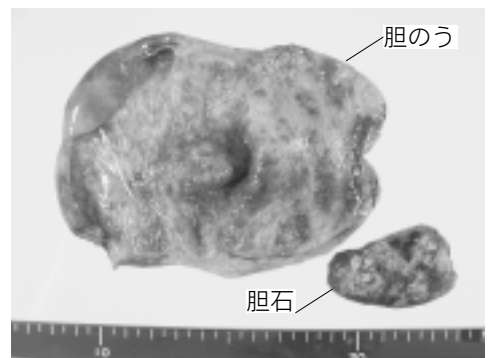
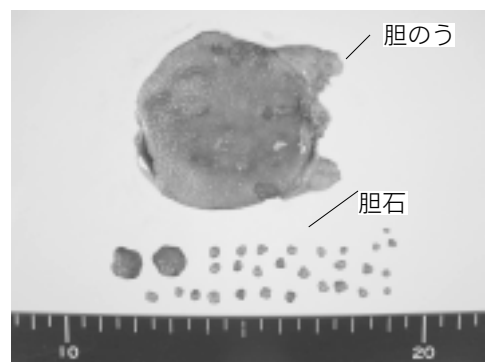
内視鏡手術とは、お腹や胸などに小さい孔を開けて、そこから内視鏡と呼ばれるカメラや手術器具を入れて、モニターの画像を見ながら行う手術です。

小さな傷で手術を行うために手術後の痛みが少なく、回復も早く、早期の退院が可能となるため、女性の方や高齢の方、働き盛りの忙しい方には恩恵の大きな手術方法です。

高度先進医療

小さい傷で行う内視鏡手術は従来の開腹手術よりも難しく、開腹手術とは異なった技術が要求されます。

また、内視鏡手術に必要な高額な専用の手術機材が必要です。手術の傷は小さい方がよいので



ですが、手術のレベルが低下したり、安全性が損なわれたりするのは絶対に許されないので、全ての臓器や疾患に對して内視鏡手術を行うことはできません。

外科医の習熟度や経験、施設の体制によって、どの病気どの程度までを内視鏡手術で行うかという基準が異なってきます。

美濃病院外科では、全身麻酔手術のおよそ1/4〜1/3が内視鏡手術となっており、大腸癌の手術は進行癌も含めて2/3を内視鏡で行っています。

腹腔鏡下胆のう摘出術

胆石症に対する内視鏡手術である腹腔鏡下胆のう摘出術の場合では、傷は通常4箇所1箇所の大きさは5〜10mmですから、切り傷というよりは刺し傷にな

ります。

通常、手術時間は1時間以内で、手術後1週間以内で退院できます。

重症の胆石症では手術操作が難しくなりますので、手術のタイミングが重要になってきます。場合によっては開腹手術になることもありますので、ひどくなる前に薬に手術を受けられることをお勧めします。

なにか、ご心配なことがありましたら、かかりつけ医または美濃病院（TEL 33・1221）まで、お気軽にご相談ください。

〈写真上〉  
 胆のうの中に10mm大の石2個と、2〜3mm大の石が無数に詰まっていた

〈写真下〉  
 胆のうの中に50mm大の石が詰まっていた